

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年4月30日(2015.4.30)

【公開番号】特開2013-223058(P2013-223058A)

【公開日】平成25年10月28日(2013.10.28)

【年通号数】公開・登録公報2013-059

【出願番号】特願2012-92679(P2012-92679)

【国際特許分類】

H 04 N 5/74 (2006.01)

G 03 B 21/00 (2006.01)

G 09 G 5/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/74 Z

G 03 B 21/00 D

G 09 G 5/00 5 1 0 V

G 09 G 5/00 5 1 0 H

G 09 G 5/00 5 5 0 X

G 09 G 5/00 5 1 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月17日(2015.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

図4は、プロジェクター200の機能構成を示すブロック図である。プロジェクター200の制御部210は、受付部211と処理実行部212とに相当する機能を実現する。受付部211は、ユーザーによる操作と、プロジェクター100からの命令とを受け付ける手段である。受付部211は、赤外線受信部240が受信した操作信号に応じたキーコードを赤外線受信部240から取得し、取得したキーコードに対応する操作を特定することにより、ユーザーによるリモコン400を用いた操作を受け付ける。また、受付部211は、通信部250を介してプロジェクター100からの命令を受け付ける。処理実行部212は、受付部211により受け付けられた操作に応じた処理を実行する手段である。ただし、処理実行部212は、記憶部220に記憶されたモード情報を参照し、記憶部220に記憶されているモード情報に応じて、実行する処理を異ならせる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0044】

一方、ユーザーが第3の方法で操作した場合(S24: NO)、制御部210は、自装置を起動するための処理を実行する(ステップS25)。このとき、プロジェクター200は、単独で起動する。すなわち、プロジェクター100は、このとき起動しない。また、このとき制御部210は、モード情報を書き換えない。